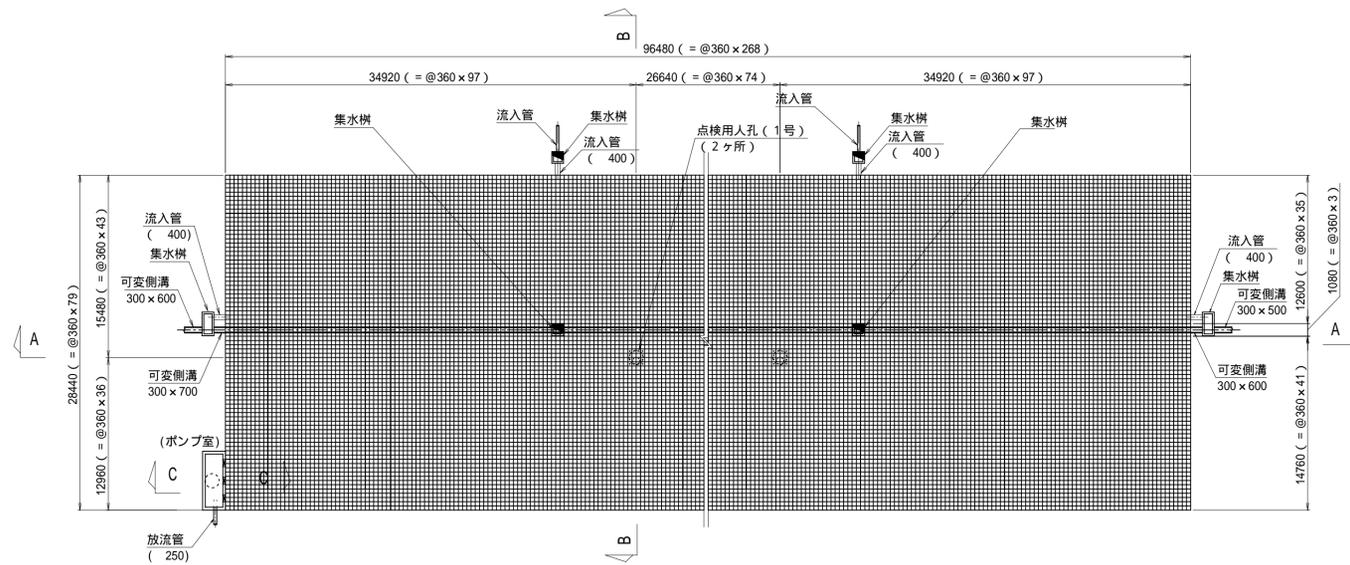
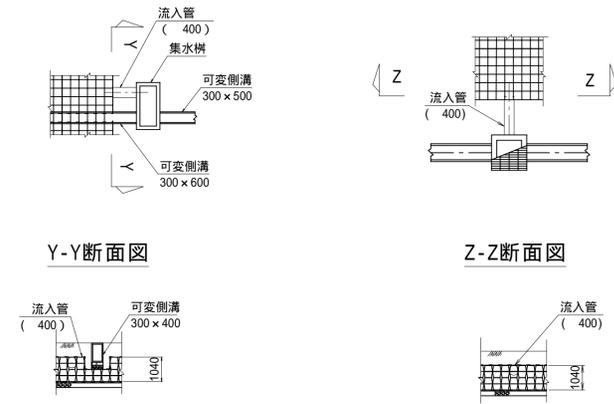


雨水貯留施設構造図 (その2)

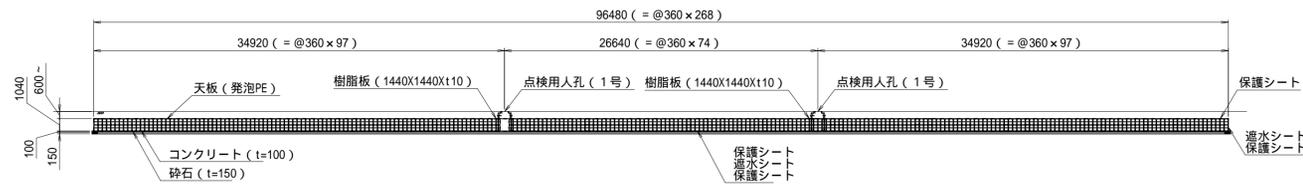
平面図 縮尺1:300



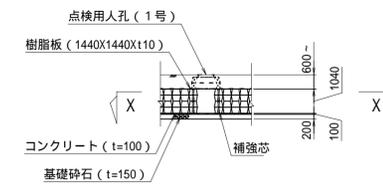
管接続部 詳細図 縮尺1:150



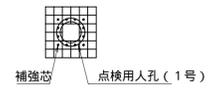
A-A断面図 縮尺1:300



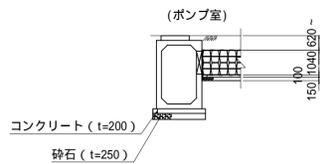
管理用人孔 詳細図 縮尺1:150



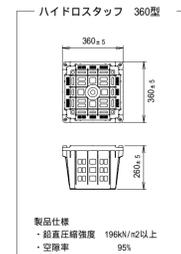
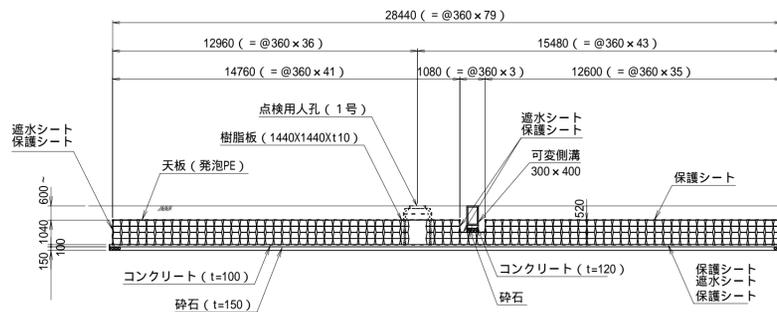
Z-Z断面図



C-C断面図 縮尺1:150



B-B断面図 縮尺1:150



- 施工上の注意
- 雨水貯留施設は、建物基礎等の荷重の影響を受けないよう、建物から十分に離して下さい。
 - 埋め戻しの際は、良質土を用いて荷重がかからないよう、丁寧に埋め戻して下さい。
 - 雨水貯留施設設置後は、所定の土盛りで埋め戻してください。
 - 埋め戻し後は、土盛り荷重を含めた載荷重条件を40kN/m²以下として下さい。
 - 組立中は、降雨により水櫃が浮かばぬ様に排水ポンプを設ける等の措置を行ってください。
 - 製品の設計応力は下記の通りです。
 - 鉛直 短期設計応力 100kN/m²
 - 鉛直 長期設計応力 40kN/m²
 - 水平設計応力 67kN/m²
- 遮水シート(熱融着タイプ t=1.5mm)
- △ 基礎構造は、一例です。地下水位が水櫃底面を下回る場合の仕様です。地下水位が水櫃底面を超える恐れがある場合は、別途ご相談いたします。
- 有効貯留量: ((96.48m x 28.44m x 1.04m) - ((0.72m x 0.72m x 2 x 1.04m) + (96.48m x 1.08m x 0.52m))) x 0.95 = 2658.46m³

工事箇所	
図面名	雨水貯留施設構造図(その2) NO. /
製図	平成 年 月 日 縮尺 図示
製図	設計 照査 承認